

教科	体育科	単元名	体づくり運動
----	-----	-----	--------

本単元で育む主な情報活用能力

A-STEP 1, B-STEP 1
D-STEP 1, G-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・運動遊びの楽しさに触れ、基本的な動きを身に付ける。
 - ・運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・動物の動きについて、必要な資料などの情報を集める。
 - ・資料からわかったことをワークシートにまとめる。

単元における学習の展開（全4時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	○1年生で行った動物歩きの復習 ・1年生で行った動物歩きでは、体のどの部分に力がつくのか、気をつけるところはどこかを意識する。 ・2年生では、どのような体づくりが必要かを知る。
第2次 (2時間)	○動物歩きを考える。(☆) ・図書資料を参考にし、班で話し合いながら、色々な動物の動きの真似をする。 ・動物歩きを考え、ワークシートにまとめる。(本時) ・動物の動きの特徴から、体のどの部分に力がつくのか、ひざは曲げないなど、どのようなところに気をつければよいかを書く。
第3次 (1時間)	○班で考えた動物歩きを交流する。 ・他の班が考えた動物歩きを行う。 ・自分の班の発表の時は、アドバイスをを行う。

本時のねらい

- ・動物の動きの特徴から、どのような動きが体づくりにつながるか考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	1. 前時までの学習をふりかえる。 ・1年生で行った動物歩きを復習する。 ・図書資料を参考に、動物の動きの真似をしながら考えることを確認する。	・体のどの部分に力がつくのか、気をつけることは何かを意識させる。
展開 (30分)	2. 動物歩きを考え、ワークシートにまとめる。 ・図書資料を参考に、動物の動きの真似をしながら考える。 ・動物の動きの特徴から、体のどの部分に力がつくのか、どのようなところに気をつければよいかを書く。 例) カンガルー ・足の力をつける ・おしりをつけずにしゃがんで、前に思いきりジャンプする。 写真 →	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">動物の動きがわかるような資料を用意する。</div> ・図書資料と見比べながら、手のつき方や姿勢などを具体的に表現させる。 ・ワークシートにまとめる際は、相手に伝わりやすい言葉で書くように伝える。
まとめ (5分)	3. 次時の学習の見通しをもつ。 ・班で考えた動物歩きを交流することを知る。 ・気をつけるところを分かりやすく伝えられるように、伝える言葉を考える。	・発表をする際は、実際に動きながら伝えることを知らせる。



授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・動物の動きの分かりやすい図書資料を用意することで、動きの真似がしやすく、体のどの部分に力がつくかが明確になった。
- ・動物の動きを表現することが難しい児童には、教員が図書資料を参考にしながら、足の動かし方や手のつき方などを具体的にアドバイスすることで動きを決めることができた。
- ・ワークシートに写真を添付したことで、視覚的に気をつけるところが明確になった。
- ・作成したワークシートを体育館に掲示することで、他学年の児童へ実践を紹介することができた。



図書資料を参考に動物の動きを真似ながら、動物歩きを考えました。